



WATARIDORI
~渡り鳥~

ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中！
<https://tagawacir.wordpress.com>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



犬の生活 in ドイツ

ドイツでも日本でも、犬は愛されています。しかし、両国では「犬を飼うこと」についてさまざまな違いがあります。今回は、どんな違いがあるのかを紹介します。

まずは、犬を買うところ。日本では、主にペット・ショップで犬を買うことが多いですが、ドイツでは、子犬を家庭的な環境で育てている「ブリーダー」から買います。また、捨てられてしまった犬を動物保護施設から引き取ることも珍しくありません。次に、お金と犬のしつけ。ドイツでは、年に1回「犬税」を払わなければならないことを知っていますか。税額は自治体によって異なりますが、例えばベルリンでは、1頭目で120ユーロ(約16,000円)が必要です。

また、日本と同じように、ドイツにも犬をしつけるための学校「Hundeschule」があり、ドイツの犬は小さい頃からこの学校に通います。人間や他の動物に対する正しい接し方などの訓練のおかげで、ドイツの犬はとても落ち着いていて、買い物をする飼い主を店の前で静かに待つ犬の姿がよく見られます。最後は犬の鳴き声。日本語では「ワンワン」ですが、ドイツ語では「Wau^{フワウ} Wau^{フワウ}!」と発音します。言語が違っても、どこか似ている表現になるのですね。

今日の言葉

フント
Hund - 犬